

## 2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	立体骨組構造小委員会		主 査 名：谷口与史也 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：川口健一
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>立体骨組構造の形態および力学的挙動を調査するとともに、終局状態での耐荷および変形性能の統合的な評価方法を確立することを目標とする。</p> <p>初年度：新しい立体骨組構造の利用に関する研究を実施する。</p> <p>2 年度：初年度に引き続き、研究調査および問題点の整理を行う。</p> <p>3 年度：各種立体骨組構造の終局状態での耐荷および変形性能の評価方法について整理を行う。</p> <p>4 年度：活動成果をまとめて、セミナー等を実施し広く公開する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：谷口与史也 (大阪市立大学) 幹事：山下哲郎 (工学院大学)、山本憲司 (東海大学) 委員：加藤史郎 (豊橋技術科学大学)、小河利行 (東京工業大学)、藤本益美 (大阪市立大学)、石川浩一郎 (福井大学)、川口健一 (東京大学)、奥出久人 (竹中工務店)、藤田正則 (神奈川大学)、大家貴徳 (巴コーポレーション)、熊谷知彦 (明治大学)、津田勢太 (岡山県立大学)、仁保裕 (呉工業高等専門学校)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2019 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. PD：大規模イベント後の大空間施設の活用ー東京 2020 オリンピック後の在り方と課題 参加者数 240 名 『構造部門 (シェル・空間構造) パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 各メンバーにより立体骨組の構造設計課題についての調査研究が進められている。 2. 広義の維持管理についての議論があり、大会 PD の開催につながった。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. なし